

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年2月3日

【評価実施概要】

事業所番号	0972600308		
法人名	医療法人北斗会		
事業所名	グループホーム高根沢		
所在地	栃木県塩谷郡高根沢町大字石末1005番地8 (電話) 028-680-2231		
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成21年12月15日	評価確定日	平成22年2月3日

【情報提供票より】 (平成21年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成14年11月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤8人(うち兼務2人), 非常勤3人, 常勤換算5.7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 1階建ての1階部分
------	-----------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	<ul style="list-style-type: none"> 水道光熱費— 19,425円 日用消耗品費— 4,500円 教養娯楽費— 3,000円 理美容代—実費 おむつ代—実費 電気代—1機器につき1日52円 	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	—	
食材料費	朝食	300 円	昼食	300 円
	夕食	350 円	おやつ	150 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(平成21年11月1日現在)

利用者人数	8 名	男性	2 名	女性	6 名
要介護1	4 名	要介護2	名		
要介護3	4 名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 83 歳	最低	71 歳	最高	93 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	高根沢中央病院 奈良歯科病院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、平成14年に医療法人により開設された、木造の平屋立てのホームであり、隣接する敷地には同法人が運営する介護老人保健施設がある。ホームの周囲には田園地帯が広がり、四季折々の風情が感じられる、和みのある家庭的なホームである。共用空間には木目を基調としており、畳部屋には和紙の衝立が置かれる等、穏やかな雰囲気が漂っている。管理者及び職員は、ホーム理念である一人ひとりのペースを尊重した「自分らしい生活」・「まごころある介護」の実践に取り組んでおり、ケアの質を高めながら、入居者一人ひとりの思いや意向の把握に努め、入居者の視点に立った取り組みや支援に努めている。開設当初からの職員も多く、入居者との馴染みの関係が構築されており、柔軟な支援の様子が見られた。認知症介護実践研修等の外部研修にも積極的に職員を参加させており、人材の育成にも力を入れているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価及び外部評価の結果については、運営推進会議で報告を行う等、評価を活かした改善に取り組んでいる。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は、管理者と職員が相談し、全職員が参加してまとめあげた。</p>
	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は民生委員、町担当職員、入居者家族の代表等の参加により、2カ月に1度開催している。会議ではホームの運営状況等について報告を行っている他、各委員から助言や意見を出してもらい、それらをサービス向上に活かしている。</p>
重点項目②	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族からの意見や苦情等に関しては、来所時の会話の中からの意見箱を設置している他、定期的にアンケートを実施し、家族が意見や苦情等を表せる機会を設けている。ホーム内には苦情処理委員会を設けており、意見や苦情が出された場合等には話し合いを行い、それらを運営に反映させている。</p>
重点項目③	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会には加入していないが、地域で開催される文化祭等に出掛けたり、ホームの近くにある地産地消施設「たんたんプラザ」に週3回買出しに出掛け、地域で収穫された野菜等の購入を行う等、地域の活動に参加し、地域住民との交流に努めている。</p>
重点項目④	

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の高根沢町東部地区での医療・保健等をサポートしようという理念から、併設する介護老人保健施設と共に開所に至っており、地域の中でその人らしさ、自分らしさをもち続け暮らせるよう、支援をして行く事をホームの理念としている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	「入居者一人ひとりのペースを尊重した、自分らしい生活の支援に努めており、家庭的な雰囲気づくりに努め、真心ある介護を提供させていただきます」という理念を具体化したものを掲示しており、職員間で理念を共有することで、実践に向けた取り組みに活かしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会には加入していないが、地域で開催される文化祭等に出掛けたり、ホームの近くにある地産地消施設「たんたんプラザ」に週3回買出しに出掛け、地域で収穫された野菜等の購入を行う等、地域の活動に参加し、地域住民との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の自己評価は、管理者と職員が相談し、全職員が参加してまとめあげた。自己評価及び外部評価の結果については、運営推進会議で報告を行う等、評価を活かした改善に取り組んでいる。		

グループホーム高根沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は民生委員、町担当職員、入居者家族の代表等の参加により、2カ月に1度開催している。会議ではホームの運営状況等について報告を行っている他、各委員から助言や意見を出してもらい、それらをサービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の担当職員には運営推進会議の出席時に助言をもらったり、ホームでの課題や制度及び提出書類等での連絡相談を行うなど、町とは常に連携が図られており、町とともに入居者へのサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族への入居者の生活状況や健康状態等の報告は、家族の来所時に随時行っている。家族が遠方等で来所が難しい場合は月1回電話等で報告をしている。ホーム便りを年3回発行しており、ホームでの暮らしぶりや行事等の報告を行っている。金銭管理についても、家族の来所時等に定期的に報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族からの意見や苦情等に関しては、来所時の会話の中からや意見箱を設置している他、定期的にアンケートを実施し、家族が意見や苦情等を表せる機会を設けている。ホーム内には苦情処理委員会を設けており、意見や苦情が出された場合等には話し合いを行い、それらを運営に反映させている。	○	ホームでは家族からの意見や苦情等の把握に努めているが、今後、更に家族が意見や要望等を表す機会づくりとして、家族の会の発足を呼びかける等、家族間のつながりや出された意見等を運営に反映させて行くことに期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者及び管理者は、入居者の立場に立って、馴染みの職員から継続的に支援を受けられるよう、異動や離職を最小限に抑えるよう配慮をしている。やむを得ず異動や離職があった場合、新しい職員は入居者に挨拶をして、1～2週間は入居者と多く過ごせるようにしており、ダメージの軽減や馴染みの関係の構築に努めている。		

グループホーム高根沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	人材の育成には力を入れており、認知症介護実践研修や実践リーダー研修等には、必要と思われる職員や希望する職員を交替で受講させている。カンファレンス時にも伝達研修を取り入れており、スキルアップに努めている。月に1度のケースカンファレンスにも内部研修を行っている他、法人内での合同研修も行われている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者は、高根沢町地域包括支援センター協議会委員に参与し、町内のグループホームとのネットワークづくりに努めている。月1回法人内の管理者間での交流会も行われている。		
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前には家族だけでなく、本人にも来所してもらい、ホームの雰囲気の把握や職員及び他の入居者と顔馴染みの関係ができるよう努めている。来所が困難な方には、職員が自宅に訪問して、ホームでの生活の説明や本人から要望等を聞き、安心してホームに馴染めるよう家族等とも相談しながら工夫している。泊まりでの体験入居もできるが、まだ利用した方はいない。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	無理のない範囲で食事の盛り付けや食器洗いを一緒に行ったり、風呂掃除等を行う入居者もいる。入居者の経験や意見を尊重し、料理の味付けや裁縫、昔の風習等を本人から学んだりしており、共に支えあう関係を築いている。		

グループホーム高根沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ホームでは、入居者一人ひとりの思いや暮らし方の要望等を尊重しており、各々の活動ペースが違ふことから、要望等を言いやすい環境づくりに努めている。日々の生活の中では、職員と1対1の関係をつくることも大切にしており、まず受容することに努め、本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画の作成にあたっては、先ずセンター方式のアセスメントに取り組み、本人及び家族の意向や希望をケアカンファレンスにおいて話し合い、それらを踏まえたうえで介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、3か月に1度のモニタリングを行い、介護計画の確認及び見直しを行っている。見直しの期間前に状態に変化が生じたときには、家族とも相談を行い、現状に即した新たな介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ホームでは、ショートステイの指定を受けているが、まだ利用された例はない。協力病院への受診の付き添いや、併設の介護老人保健施設の看護師に入居者の体調等を相談する等、連携を図っている。入居者の希望に応じて、散歩や少人数でのドライブに出掛ける等の柔軟な支援も行っている。		

グループホーム高根沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医での受診は家族に付き添いをお願いしているが、状況に応じては職員が同行し、状態確認や処方箋の確認等を家族と連携して、適切な医療が受けられるよう支援している。隣接の介護老人保健施設の医師に相談したり、同法人病院での受診の際や緊急時には職員が付き添っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期の在り方については、入所時に本人や家族から要望等を確認しており、できるだけ希望に添えるよう、ぎりぎりまでホームで対応していく方針である。入院する場合にも家族やかかりつけ医等とも相談を行い、職員全員で方針を共有している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人を受容しながら尊厳を保てるような支援に努め、個人情報についてスタッフ全員が年1回内部研修を受け機密保持に努めている。また、法人内にはサービス委員会等も設置されており、接遇のマニュアルも作成されている。個人情報等の書類は事務室の鍵のかかる場所にて保管をしている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ホームでは、日々の日課は細かく決めておらず、入居者の体調や希望に応じて、一人ひとりが自分のペースで過ごせるよう支援している。		

グループホーム高根沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は隣接する介護老人保健施設の管理栄養士が作成し、調理は、ホームの厨房で職員が行っている。入居者と一緒に調理する時もある。食事の盛り付け、配膳、下膳は職員と入居者が一緒に行っており、食事が楽しくなる様に職員も入居者との会話を楽しみながら一緒に同じものを食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、本人の希望に添えるように職員間で話し合い、午前または午後の時間帯で職員の支援により入浴している。平日及び土・日曜日にも入浴を楽しめるようにしており、入浴が苦手な入居者も週に2回は入ってもらえるように支援に努めている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の後片付け、洗濯物干しや洗濯物たたみ、入浴後の風呂の掃除や部屋のモップがけ等、入居者各々ができることに配慮し、役割を持ち張り合いや喜びのある日々をすごせるよう支援している。家庭菜園、書道、アートセラピー、散歩等、楽しみ事や気晴らしの支援も行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日には散歩やドライブをしたり、月・水・金曜日には一緒に食材等の買出しに出かけたり、庭先の落ち葉そうじを一緒に行う等、一人ひとりのその日の体調や希望に沿って、戸外に出かけられるよう支援している他、季節毎の外出も取り入れている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵をかけていない。チャイムは付けてあるが、入居者の外出傾向の把握に努め、外に出たそうな時には、職員が声をかけて付き添うようにしている。		

グループホーム高根沢

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、防災訓練を行っている。夜間時を想定した訓練も実施している。消防署の指導のもと、隣接する介護老人保健施設との連携も取れるようになっている。ホーム単独の地震対策マニュアルの作成計画もある。	○	災害時の地域との連携については、今後検討していきたいと考えていることから、運営推進会議等で話合う他、防災面から地域との関係づくりに取り組んでいくことに期待したい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日1500キロカロリーの摂取を目安に献立を作成している。水分摂取は、入居者が自由に飲める様にペットボトルのスポーツドリンクやお茶をホールに用意している。食事やお茶の時間以外にも水分が充分摂れるよう支援している。		
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関を入れてすぐリビングがあり、木目調の内装で落ち着いた雰囲気である。畳のスペースにはコタツが設置され、各々が休憩したりできるようになっており、食事を職員と一緒に摂っている入居者の姿も見られた。中庭に面した廊下には椅子とテーブルが置かれ、季節を感じられる飾りつけがしてある他、隣接する食堂は、配膳しやすいよう工夫がされている。リビングの天井は吹き抜けで明るく日差しが取り入れられるようになっており、換気も適切に配慮され不快な臭い等は感じられない。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、テレビや箆笥、ベットや仏壇等の入居者各々の馴染みの物が持ち込まれており、本人が居心地よく過ごせるよう工夫されている。本人が居室の鍵の開け閉めを行う入居者もいる。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。